

【開通1年後】一般国道13号

上山バイパスが開通して

(平成22年12月12日開通)

①約23,200台/日がバイパスを利用



開通1年後の上山バイパス (今回開通区間)



整備前

▼これまでの冬の状況



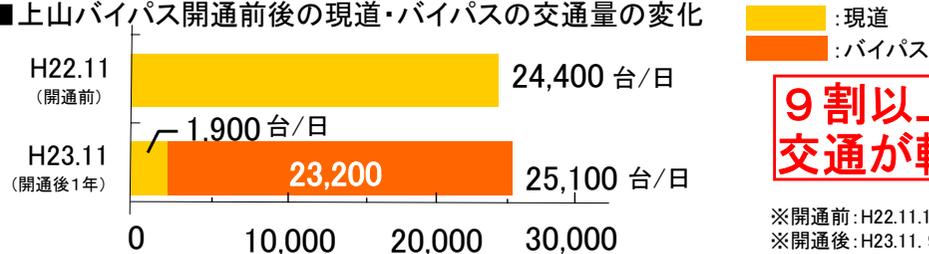
▲これまでの国道13号の混雑状況



◀南陽市川樋地区での事故の様子

①約23,200台/日がバイパスを利用

■上山バイパス開通前後の現道・バイパスの交通量の変化



9割以上の交通が転換

※開通前: H22.11.11(木)
 ※開通後: H23.11.9(水)

- ・工事期間: 昭和54年～平成22年
- ・延長: 全長17.2km / 今回開通5.5km (今回開通区間は、平成12年～)
- ・幅員: 14.5m(2車線区間)
- ・総事業費: 約210億円(暫定2車線)

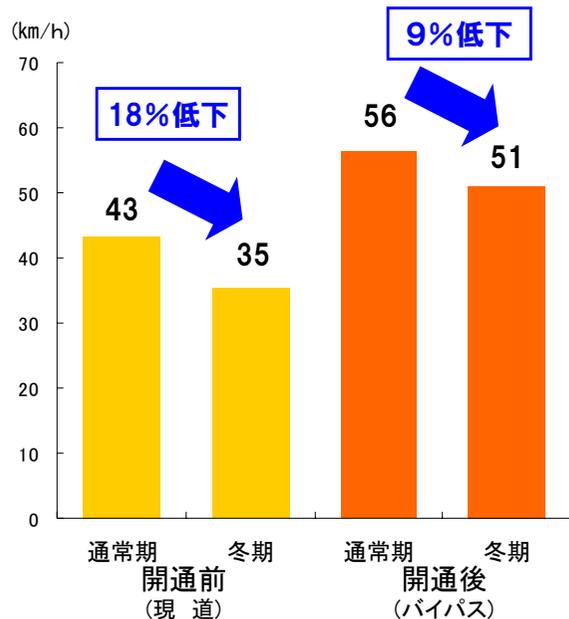
【開通1年後】一般国道13号

上山バイパスが開通して

(平成22年12月12日開通)

- ②冬期の走行速度の低下が軽減
- ③交通事故の減少
- ④所要時間の短縮

②冬期の走行速度の低下が軽減



▲通常期・冬期の速度変化

(南陽市川樋～上市市中山間で集計)

※開通前(通常期:H22.11.11(木)、冬期:H21.2.17(火)～19(木)の平均)

※開通後(通常期:H23.11.9(水)、冬期:H24.1.31(火))

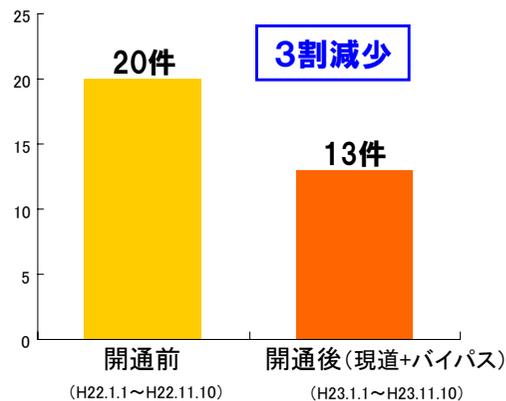
※朝8時台北向き(山形市)方向の走行を対象に集計

▼積雪時の上山バイパスの状況



H24.1.31(火)(朝8時台、北向き(山形市方向))

③交通事故の減少



▲事故件数の変化

※川樋交差点～掛入石交差点間で集計

資料:山形県警察(上山・南陽警察署)

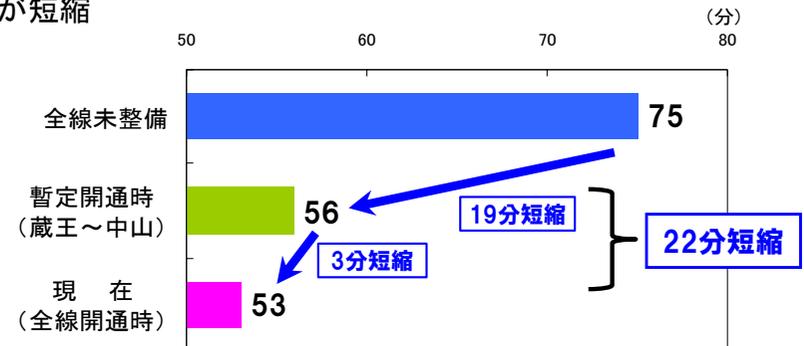


[現道利用者の声]

- ・子供と外を歩く際や自転車に乗る際の安心感が向上した。(40代・女性)
 - ・国道の通行量が少なくなり、車での家からの出入りや道路の横断がしやすくなった。(50代・女性)
 - ・バイパスが出来て事故が減ってよかった。(70代・女性)
- 現道歩行者ヒアリング調査より—

④所要時間の短縮

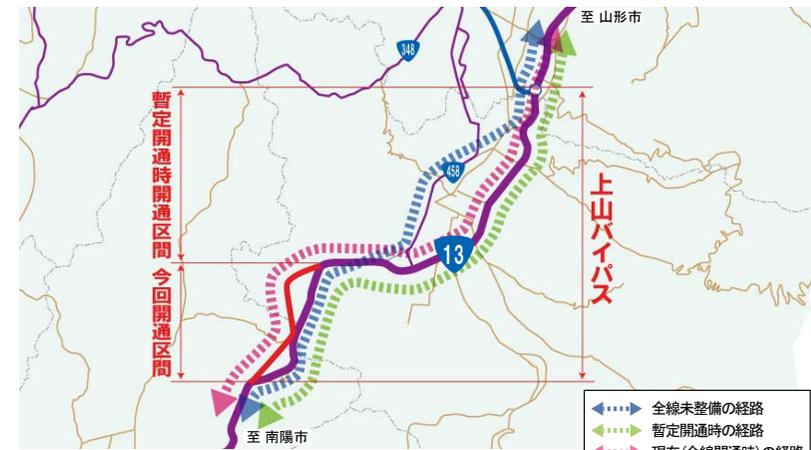
上山バイパス全線開通により南陽市～山形市間の所要時間が短縮



▲南陽市～山形市の所要時間の変化

※全線未整備(S60)・暫定開通時(H17)…道路交通センサス

※現在…H23.11調査結果より短縮時間を算出



[利用者の声]

- ・山形新潟線がバイパス経由への経路変更により、所要時間が2分短縮し、H23.4にダイヤ改正した。
- 山交バス(株)ヒアリング調査より—